

ひょうご安全の日推進事業 2019年度 助成事業のご案内



「ひょうご防災減災推進条例」に基づき、地域団体など県民の皆さんによる、阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し安全・安心な社会づくりを推進するため、日々の生活の中で防災減災に取り組む「災害文化」を広める事業を支援します。

各助成事業の概要

(注意)本チラシは事業の概要を記載していますので、申請される場合には、必ず、「ひょうご安全の日推進事業 2019年度助成事業の手引き」をお読みください。

[1] 全県事業・地域事業

1 実施団体：NPO、ボランティア団体、実行委員会、学生団体など

2 事業実施時期：

募集期間	事業開始月	申請期間
第1期	2019年 4月～2019年 7月	2月28日～3月 8日
第2期	2019年 8月～2019年11月	6月 3日～6月17日
第3期	2019年12月～2020年 3月	9月16日～9月30日

3 助成対象事業：

一般県民を対象として、次のいずれかの目的で実施される講演会、シンポジウム、啓発イベント等

- ① 震災で学んだ教訓を継承・発信する事業
- ② 災害への備えや対応について実践・発信する事業
- ③ 復興の過程で積み上げた経験を継承・発信する事業
- ④ 犠牲者を追悼し震災をおもい起こす事業
- ⑤ 震災以降の国内外の災害の教訓を共有・発信する事業
- ⑥ その他ひょうご安全の日推進事業としてふさわしいもの

4 申請可能回数：

自主防災組織強化支援事業、実践活動事業との重複申請は出来ません。
また、年度内で申請できるのは1団体1回に限ります。

5 助成金の額：

有識者等で構成する審査委員会で審査し、適正と認められた事業について予算の範囲内で助成金を交付します。

事業区分	助成対象となる事業費	助成上限額 (千円未満切捨)	助成率	ひょうご防災特別推進員関連経費に対する加算	新ひょうご防災アクション購入経費に対する加算
全県事業 ※1	対象経費 10万円以上	100万円以内	対象経費 の1/2以内	左記の助成額に上乗せして、ひょうご防災特別推進員派遣制度に関連する経費を加算助成(上限5万円)	左記の助成額に上乗せして、新ひょうご防災アクション購入経費を加算助成(書籍代のみ)
地域事業 ※2	対象経費 4万円以上	50万円以内			

※1 複数の県民局、県民センター所管区域外からも多数の参加者が見込まれる事業

※2 概ね一つの県民局、県民センター所管区域内からの参加者が見込まれる事業

ひょうご安全の日推進県民会議

[2] 自主防災組織強化支援事業

- 1 実施団体:** 自主防災組織
- 2 申請期限:** 事業開始月の前々月20日まで
- 3 助成対象事業:** 特色ある防災訓練に加え、以下の①～③のいずれかの事業
 - ①住民の防災意識向上を目的とした実動的な活動を伴う研修会の開催
 - ②複数の自主防災組織や地域団体等と合同で実施する防災訓練・防災活動
 - ③避難場所・避難路の視認性強化につながる表示板整備(避難時の誘導反射板、避難場所表示看板の設置等)
- 4 申請可能回数:** 全県事業・地域事業、実践活動事業との重複申請は出来ません。また、年度内で申請できるのは1団体1回に限ります。
- 5 助成金の額:** 交付申請・実績報告を審査し、適正と認められるものについて予算の範囲内で助成金を交付します。

助成対象経費に対する助成額		新ひょうご防災アクション購入経費に対する加算
助成率	助成額	
10/10	1団体あたり30万円を上限※ (千円未満は切り捨て)	左記の助成額に上乗せして、新ひょうご防災アクション購入経費を加算助成(書籍代のみ)

※防災資機材の購入に対する助成額は、助成申請額の2/3の範囲内とし、20万円を上限とします。

[3]- I 実践活動事業

- 1 実施団体:**
 - ①地域団体〔自主防災組織、自治会、マンション管理組合、まちづくり協議会等(個別支援計画等の策定にあっては、計画等策定を行うための上記団体を中心に組織された協議会等を含みます。)]
 - ②学生グループ
 - ③学校
 - ④企業・事務所※
※学校、企業、事務所が実施団体である場合は、地域住民の参加を要件とします。(学校が防災教育施設への見学を行う場合を除きます。)
- 2 申請期限:** 事業開始月の前月5日まで
- 3 助成対象事業:** 以下の①～④のいずれかの事業
 - ①防災訓練、防災学習
事業例: 防災訓練(避難誘導、初期消火、土のうづくり等)、救命講習会、防災体験セミナー、災害図上訓練、ハザードマップづくり、人と防災未来センターへの見学等
 - ②避難行動要支援者の個別支援計画の策定
市町から避難行動要支援者名簿情報の提供を受けて、その提供のあった地区内の要支援者の概ね3割以上について定めるものに限ります。
 - ③地区防災計画の策定
市町の地区防災計画として定められることを目的として市町防災会議に提案する案を策定するものに限ります。
 - ④避難所自主運営マニュアルの策定
市町の指定避難所において、避難者による避難所の自主運営を行うために策定するものに限ります。

4 申請可能回数:

全県事業・地域事業及び自主防災組織強化支援事業との重複申請はできません。また、年度内に申請できるのは1団体1回に限ります。

5 助成金の額:

助成を希望する団体からの交付申請・実績報告を審査し、適正と認められるものについて予算の範囲内で助成金を交付します。

助成対象となる事業費	助成対象経費に対する助成額	
	助成対象経費※1	助成額
対象経費 2万円以上	2万円～10万円未満	助成対象経費と同額(全額助成) (千円未満切り捨て)
	10万円～20万円未満	10万円
	20万円～30万円未満	15万円
	30万円～40万円未満	20万円
	40万円～50万円未満	25万円
	50万円～	30万円

ひょうご防災特別推進員 関連経費に対する加算	新ひょうご防災アクション 購入経費に対する加算	訓練等に使用する資機 材整備に対する加算※2	福祉連携事業加算
上記の助成額に上乗せして、ひょうご防災特別推進員派遣制度に関連する経費を加算助成(上限5万円)	上記の助成額に上乗せして、新ひょうご防災アクション購入経費を加算助成(書籍代のみ)	上記の助成額に上乗せして、訓練等に使用する防災資機材の整備に係る経費を加算助成(上限10万円)	上記の助成額に上乗せして、ケアマネジャー等による個別支援計画策定に係る経費を加算助成(上限5万円)

※1 防災資機材の購入については総額5万円以内とします。

※2 整備する防災資機材を活用した防災訓練、防災学習等を実施することが必要であり、防災資機材の整備のみを行う場合は対象となりません。

【助成対象事業②～④の利用にあたって】

1 計画等策定支援専門家派遣事業の利用:

個別支援計画等の策定にあたっては、〔3〕-Ⅱ計画等策定支援専門家派遣事業を併せて利用し、ワークショップ等を開催して計画等の策定に取り組むことを推奨します。

2 市町の計画等所管課との連携:

個別支援計画等の策定は、市町の防災活動と密接に関連するため、事業の実施にあたっては市町の所管課と連携し、市町の方針と整合性を図りながら必要に応じてその指導・協力を受けて実施するものとします。



【地域団体が実施する避難所開設訓練の様子】

3 策定した計画等の提出:

個別支援計画等の策定において、実績報告の際には、策定した計画又はマニュアルを提出してください。実施期間内に策定が終わらなかった場合は、期間終了時点での計画等の案と「計画等策定経過報告書」を提出してください。

4 個別支援計画等策定済団体の助成の特例:

個別支援計画、地区防災計画、避難所自主運営マニュアルを策定した地域団体が、実践活動事業を実施するときは、策定した計画等に基づいて整備する防災資機材については、総額の制限はありません。ただし、助成額は30万円が上限です。(別途、10万円の加算あり(2019年度限り))

※地区防災計画にあっては、市町の地区防災計画として定められた年度及びその翌年度、個別支援計画及び避難所自主運営マニュアルにあっては、市町に計画等を提出した年度及びその翌年度に申請することが必要です。



【地域団体が実施する防災訓練の様子】

〔3〕- II 計画等策定支援専門家派遣事業

個別支援計画、地区防災計画、避難所自主運営マニュアルを策定しようとする地域団体に指導・助言を行うため、ひょうご安全の日推進県民会議が登録した専門家を無償で派遣します。

なお、実践活動事業(個別支援計画等策定)助成金を利用せず、計画等策定支援専門家派遣事業のみ利用することも可能です。

1 派遣対象団体:

個別支援計画、地区防災計画、避難所自主運営マニュアルを策定しようとする地域団体

2 派遣実施期間:

実践活動事業(個別支援計画等策定)助成金の交付決定日(計画等策定支援専門家派遣事業のみ利用する場合はその派遣決定日)から原則として1年以内

3 派遣する専門家:

大学教員、防災士を中心に申請のあった事業内容に応じた専門家を派遣します。

4 派遣人数:1回あたり2人まで

5 派遣回数:原則として10回まで(1回あたり3時間以内)



【専門家派遣によるワークショップの様子】

● 共通事項

実施団体: 本助成事業の対象となる実施団体は、いずれも団体規約等を有し、事業責任者、会計責任者等を明確にしている団体であることが必要です。また、名称が異なっても、構成員等が同様の団体は同一の団体とみなします。

実施場所: 原則として兵庫県内

助成額: 実績報告の際、助成対象経費が交付決定時から減額した場合は、実績額に応じた助成額に減額します。

お問い合わせ・資料請求先

【ひょうご安全の日推進県民会議事務局】〒650-8567 神戸市中央区下山路通5-10-1

●全県・地域事業、実践活動事業: **兵庫県復興支援課** TEL(078)362-9984 FAX(078)362-4459

●自主防災組織強化支援事業: **兵庫県消防課** TEL(078)362-9819 FAX(078)362-9915

【申請窓口】全県・地域事業、実践活動事業: 事業を実施する地域を所管する県民局・県民センターの防災担当課
自主防災組織強化支援事業: 自主防災組織の所在地の各市町の自主防災組織担当課

詳しくは、webサイトをご覧ください

ひょうご安全の日推進事業助成金

検索



スマートフォンの方は
こちらのQRコード
からどうぞ